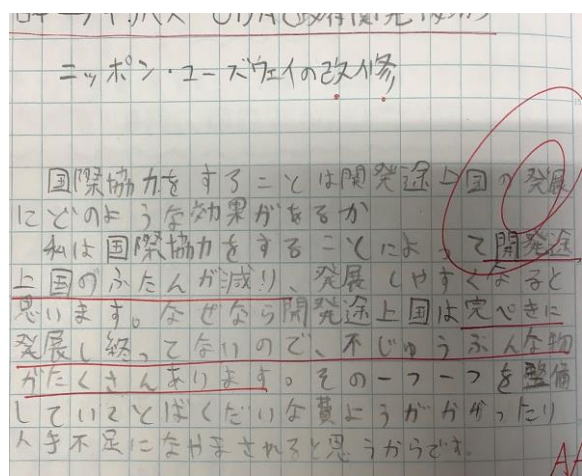
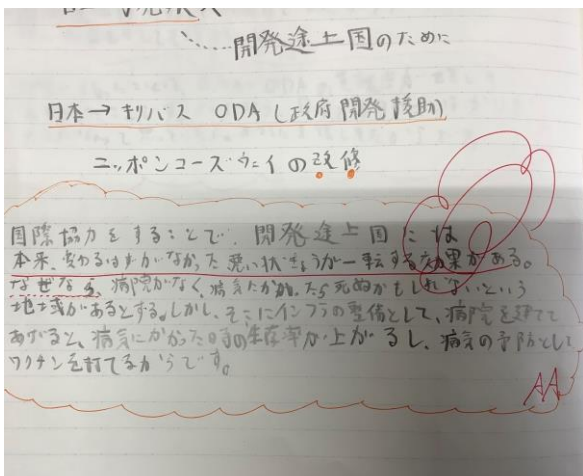
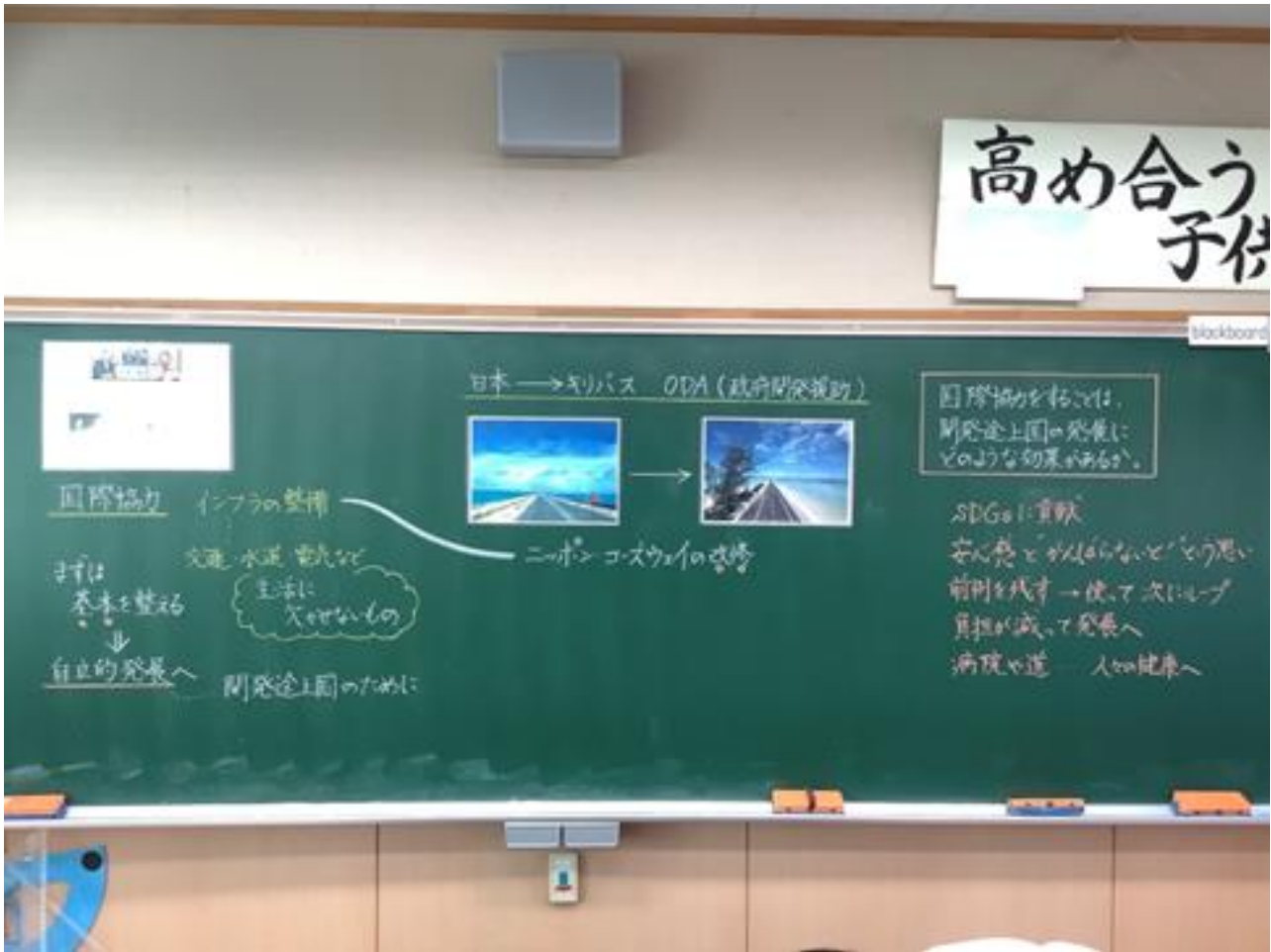


第6学年社会科実践の振り返り2

R3.3 附属小 三浦



自立的発展へ ... 開発途上国のために

日本 → キリバス ODA (政府開発援助)

ニッポン・コースウェイの改修

国際協力は発展途上国の発展にとって重要な機会をもたらす。援助の仕方によって発展する国とそうでない国で分かれてしまうが、その国にとって幸福の可能性のあるチャンスには間違いない。

開発途上国のために

日本 → キリバス ODA (政府開発援助)

ニッポン・コースウェイの改修

国際協力することによって、発展途上国への入りまはもちろんだが、その平等な社会、自国をなくさずともつながら、世界につけ入る。

国際協力することは開発途上国の発展にとってどのような効果がある?

↓

国際協力のインフラ整備で、道路をつくったり、病院をつくることで、少し日本から支えることで自分たちで効果を得ようとする行動することができるため、継続の発展ができる。(病院ができたなら、自分達で長く運営するため、勉強する、など)

また、生活を支えられることから、生活への安心を届けられる。

国際協力

インフラの整備 → ニッポン・コースウェイの改修

交通 水 電気

生活に入かせない

自立の発展へ

開発途上国のために

日本 → キリバス ODA (政府開発援助)

大きな効果をまたらさずとも、開発途上国にとってはこれいぬ水と手を入れるだけでも難しいのに、それを簡単にしてもらうことは、途上国にとって、生活の質を上げる一歩を大きく前進させることになる。

日本 → キリバス ODA (政府開発援助)

ニッポン・コースウェイの改修

国際協力することは、発展途上国のせいり人間的なバの助けであり、SDG3にもつながると思えた。しかも発展途上国に良いえれまうをもたらし、ことのできるわけ、も、と感動してほしいと思えた。

AA

良い意味でのおせり